

彙 報

昭和 49 年度第 2 回委員会

日 時：昭和49年6月19日（土）

場 所：学士会館分館

出席者：（ ）内は委任状受託数

井上和子，梅田博之，大東百合子，岸本通夫，江 実，佐藤則之，柴田武（11），田村すゞ子，千野栄一，徳川宗賢，長谷川欣佑，服部四郎，前田護郎，湯川恭敏，（白紙委任3）；井上史雄（幹事）

議事：1) 第1回委員会議事録確認

2) 第7回委員会議事録の第3項を次のように訂正することが提案され了承された。

3. 日本学術会議語学文学研究連絡委員会への本学会代表梅田博之委員より次の報告があった。「去る2月7日の同委員会に CIPL の執行委員服部四郎氏が出席し，第12回国際言語学者会議（1977年）の日本招致に関し説明し，同会議がもし日本で開かれることになった場合，学術会議より補助金を出して貰いたい旨要請したのに対し，同委員会としてはこれを諒承，ただし同言語学者会議の正式の組織委員会が発足するまでは同委員会においてこの件を受持つことになった。」

3) 秋の大会の計画進行状況について，岸本委員より報告があった。

4) CIPL との連絡に関する野上委員よりの提案について検討し，5年の任期中続けて日本代表として活動してもらうことになった。

5) 制度検討のための小委員会の審議経過について，江座長より中間報告があった。これに対して委員会の規模，評議員会の性格，会員の種類，実施時期などについて，質問および提案があった。

昭和 49 年度第 3 回委員会

日 時：昭和49年9月14日（土）

場 所：学士会館本郷分館

出席者：（ ）内は委任状受託数

井上和子，大東百合子，岸本通夫，江実（1），佐藤則之，
柴田武（12），徳川宗賢，服部四郎，湯川恭敏，（白紙委任 3）；
樋口時弘（幹事）

- 議事：1) 第2回委員会議事録を確認した。
- 2) 第69回大会の細目について協議した。
- 3) 公開講演者への謝礼は，以後，会員の場合は5,000円，非会員の場合は10,000円とする。
- 4) CIPL 総会日本代表として野上素一氏が任期中留まるとの返事があった旨，委員長から報告があった。尚近く野上氏に CIPL に関する報告を求めることになった。
- 5) 昭和50年度科学研究費審査委員候補者として，岸本通夫・北村甫（第1段審査），井上和子（第2段審査）の三氏を推薦することにした。
- 6) 日本学術会議二十五周年記念事業会の募金（1万円）に応ずることにした。
- 7) 聴覚障害児教育国際会議（1975年8月24～30日東京で開催）の準備状況について，言語学会代表委員の佐藤則之氏より報告があった。

昭和 49 年度第 4 回委員会

日 時：昭和49年9月28日（土）

場 所：学士会館本館

出席者：（委任状提出者を含む。（ ）内は委託者）

泉井久之助，井上和子，大東百合子，日下部文夫，江実，佐藤則之，
柴田武（池上二良，梅田博之，大竹敏雄，岸本通夫，北村甫，
小泉保，阪倉篤義，佐藤純一，塩谷鏡，千野栄一，徳川宗賢，
長谷川欣佑，堀井令以知，松田伊作，松本克己），服部四郎，

蛭沼寿雄, 湯川恭敏 (大江孝男); (白紙委任: 今川太郎, 小沢重男, 関根正雄); 井上史雄 (幹事)

欠席者: (委任状未提出者および委任状無効者) (*は海外在住または出張中を示す) *上村幸雄, 大野晋, *国広哲弥, 田村すゞ子, *土田滋, *藤村靖, 前田護郎, 松平千秋, 南不二男, 三根谷徹 (田中利光)。

議事: 1) 第3回委員会議事録を確認した。第4回議事録から欠席者名も記すことになった。

2) CIPL 総会日本代表野上素一氏から1977年の言語学会議についての最近の情報が寄せられ, 柴田委員長から紹介された。

3) 井上幹事の転出に伴い, 新幹事に柘植洋一氏を加えることが了承された。

4) 日本言語学会会則 (案), 日本言語学会選挙規則 (案), 日本言語学会会議規則 (案) について逐条審議し, 補正の上, 成案を得た。

なお, 会則中, 第3条「その他必要な事業」には, エクスペディション, 共同研究, 海外学会との交流が含まれること, 第12条の「会長は……学術的……事項について責任を負う」の中には, 「就任演説を行う」ことが含まれることが了解事項とされた。

昭和49年度第5回委員会

日 時: 昭和49年10月12日 (土)

場 所: 大阪市日本生命中之島研修所

出席者: (委任状提出者を含む。() 内は委託者)

池上二良, 泉井久之助, 井上和子, 今川太郎, 大江孝男, 大東百合子, 岸本通夫, 日下部文夫, 小泉保, 江実, 阪倉篤義, 佐藤則之, 柴田武 (梅田博之, 大竹敏雄, 北村甫, 佐藤純一, 千野栄一, 前田護郎, 松平千秋, 三根谷徹), 田村すゞ子, 徳川宗賢, 服部四郎, 蛭沼寿雄, 堀井令以知, 松田伊作, 松本克己, 湯川恭敏; (白紙委任: 小沢重男, 関根正雄); 井上史雄, 柘植洋一 (幹事)

欠席者: (委任状未提出者及び委任状無効者) (*は海外在住または出張中)

*上村幸雄, 大野晋, *国広哲弥, 塩谷鏡, 田中利光 (三根谷徹),

*土田滋, 長谷川欣佑, *藤村靖, 南不二男

- 議事：1) 第4回委員会議事録を確認した。
- 2) 公開講演者が I. Jordan 氏から服部四郎氏に変更された経緯に関して岸本委員から報告があった。
- 3) 大会運営の各担当者を決定した。
- 4) 昭和48年度会計報告が別表(93～94ページ)のように行われ承認された。なお、従来「雑費」としていた分を次年度以降「謝金及び事務室賃借料」それに「雑費」とわけて記すことに決定した。
- 5) 制度改革案を審議し、修正を加えた上で、票決によって決定した。(賛成17, 反対2, 白票2)
- 6) 1977年の国際言語学者会議は日本に招致しないことになった旨、服部委員から発言があった。

第69回日本言語学会大会

昭和49年10月12日、大阪市の日本生命中之島研修所において公開講演、同13日大阪大学本部において研究発表を開催。

1. 公開講演

類型学について 岸 本 通 夫

母音調和と中期朝鮮語の母音体系 服 部 四 郎

なお、当初 I. Jordan 氏が予定されていたが、急病で来日不可能となったため、服部四郎氏に変更された。

2. 研究発表

英語の〈定〉と〈特定〉 山 田 進

英語属格形代名詞の使用制限について 玉 井 俊 紀

母音調和について 角 道 正 佳

朝鮮疑似漢文について 藤 本 幸 夫

Knobloch の “*Nomina post res*” について 平 川 信 弘

印欧語語根の Sonant 交替 山 末 一 夫

アクセント型の知覚について

—— 合成言語音による研究 ——

杉 藤 美 代 子

- ◇ 本会評議員・熊沢龍氏（東京教育大学名誉教授）は、昭和49年2月28日死去されました。会員諸氏とともに心から御冥福をお祈りしたいと思います。
- ◇ 本会評議員・田中秀央氏（京都大学名誉教授）は、昭和49年8月6日死去されました。会員諸氏とともに心から御冥福をお祈りしたいと思います。

◇ 昭和 48 年度会計報告

収 入		支 出	
前期繰越	— 175,907	刊行経費	1,108,778
会費(現金)	437,047	発送料	19,115
・(振替)	744,340	大会関係費	77,375
雑誌売上	135,131	通信費	44,250
補助金	200,000	事務用品費	34,567
利息	291	九学会連合会費	10,000
寄付金	0	CIPL 寄付金	28,510
		雑費*	130,861
計	1,340,902		1,453,456
残高	— 112,554	<赤字>	

* 尚「雑費」には「謝金」「事務所賃借料」「その他雑費」が含まれます。

言語研究 第 65 号 訂正

彙報 87.ページ 6 行目「採用」は「援用」の誤りで、この個所は「——アルタイ諸語, 高句麗語, 朝鮮語援用による——日本語とウラル諸語の人体各部比較語彙 藤原明」となる。

◇本誌は文部省昭和49年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものである。